

平成19年2月8日

各位

会社名 太陽誘電株式会社
コード番号 6976 東証一部
代表者名 代表取締役社長 神崎 芳郎
問合せ先 広報部長 大嶋 一幸
電話 (03) 3832-0101
U R L <http://www.ty-top.com/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月8日に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 連結 通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	213,000	16,000	15,500	8,500
今回修正予想 (B)	218,500	20,000	20,000	11,500
増減額 (B-A)	5,500	4,000	4,500	3,000
増減率	2.6%	25.0%	29.0%	35.3%
前期実績(平成18年3月期)	186,539	6,691	6,997	3,155

2. 平成19年3月期 個別 通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	176,000	—	11,000	6,000
今回修正予想 (B)	183,000	—	16,000	10,500
増減額 (B-A)	7,000	—	5,000	4,500
増減率	4.0%	—	45.5%	75.0%
前期実績(平成18年3月期)	150,324	△ 2,409	1,265	526

3. 修正の理由

連結通期売上高ならびに同営業利益を上方修正する主な要因は、それぞれ以下のとおりです。

連結通期売上高

- ① 「その他電子部品」に含まれる、子会社で行う部品実装事業の売上高が、予想を上回る見通しであること
- ② 下期の減速を予測していた液晶テレビ向けバックライト用インバータモジュールをはじめとする「モジュール」の売上高が、予想を上回る見通しであること
- ③ 「記録製品」において、季節性による売上高の増加が予想を上回る見通しであること
- ④ 「コンデンサ」の売上高も予想を上回る見通しであること

連結通期営業利益

- ① 前述の各製品区分売上高が予想を上回ることに伴い、営業利益も予想を上回る見通しであること
- ② 減価償却費と研究開発費が予想をやや下回る見通しであること
- ③ 「コンデンサ」や「フェライト及び応用製品」における値下りが、予想した下落に比較して緩やかに推移する見通しであること
- ④ 対米ドル平均為替レートが、115 円／米ドルの下期想定に対して、117 円／米ドル程度とやや円安で推移する見通しであること

また、連結通期営業利益の増加に伴い、同経常利益と同当期純利益も上方修正いたしました。

さらに、個別通期業績予想についても、連結業績に連動して予想を上回る見通しであるため、修正いたしました。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されている業績予想数値については、現時点で得られた情報に基づいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要因の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上